



あきもと あけみ
秋元 明美

担当 経理課 お客様係

皆様こんにちは。若葉がかおる季節となりました。

鯉のぼりが元気に泳ぐのを見ると孫の遊ぶ姿を思い、つつい頬がゆるんでしまいます。

さて、今月のお題「私の母」ですが、母は植物が好きで、玄関先に色々な植物を育てています。

毎年、母の日には鉢植えのカーネーションをプレゼントしています。

また、私の母は、お赤飯、きんぴら、けんちん汁などを作るのがとても上手で、お祝い事が有ると必ず作ってくれます。まさに、おふくろの味です。その味は近所でも評判なんです。

私も母の様におふくろの味を身に着け、伝えていければと思います。



なかにし けいすけ
中西 慶佑

担当 経理課 お客様係

とうとう5月に入り、皆様もそろそろ新しい生活にも慣れてきた頃だと思います。また心地よい暖かさから、アクティブに外へと出かけたくなる時期になりました。私もこの次期、休みになると出かけることが多くなります。特に朝から気持ちよく晴れた日になるたび、今日はどこへ行こうかと考えてしまいます。

さて私の母についてですが、一言で申し上げますと「蛙の子は蛙」の表現をされることが多いです。もっとも私自身は最近までそこまで似ているのだろうかと考えていたのですが、年齢を重ねるにつれ自覚しつつあります。もちろん良い面だけならよいのですが、むしろ反対のほうに似ているのだろうと痛感する日々です。その点は否定したいのですが、自分を鏡で見ているような感覚があり、否定できません。

しかしその一方で、女手一つで私を育て上げ、かつ祖父母の面倒を見るという芯の強い一面を持っています。私も補佐していたとはいえ、一人で祖父母二人の介護をするというのはやはり心身に疲労が溜まります。それでも何も言わず、長年私たち家族を支えてきたということを考えると、頭が下がる思いです。真似しようとしても容易にはできません。

そのような母に、私は毎年赤いカーネーションをはじめとした花を贈り続けています。ささやかではありますが、こういう記念日に感謝の意を表すのも親孝行の一つであると考えています。そしてこれからもずっと続けていくことで、少しでも「ありがとう」と伝えていきたいです。